



# はなもみじ

平成22年  
9月30日

屋代  
小学校  
春秋ご  
ごうなり

## 秋の交通安全教室

～ 29日1・2・5・6年、30日3・4年 ～

【**学校長の話**】交通安全教室は、春も1回行いました。登下校でちょっと心配なこともありましたが、大きな事故もなく、ここまですることができました。今日の安全教室は、一人ひとりが自分の責任で事故に遭わないようにするため、真剣に取り組んでください。県内、全国では、交通事故で命を落としている人がたくさんいます。千曲市でも、自転車による大きな事故が起きています。是非、今日の帰りから、学習したことをいかせるようにしましょう。交通安全支援センター、交通安全協会、PTA社会部のたくさんの方々にお世話になります。よい交通安全教室になるように、がんばりましょう。

### 1・2年 学校周辺道路で歩行練習

実際の道路で、横断歩道や信号機のある交差点の渡り方、安全な歩道の歩き方等を一人ひとりが友達と距離をおいて歩き、学習しました。飛び出しは絶対いけません。

1年生には、JA共済様より、オリジナルの交通安全横断旗を寄贈いただき、それを使って横断をしました。交通事故の保険も付いています。来年度新入生にも、配布される予定です。

横断歩道や交差点での事故が多いと、教えていただきました。普段の登下校でも、周りの様子をしっかりと見て、歩きましょう。



須須岐水神社信号機で

信号機がある交差点で



### 3～6年 校庭模擬道路で自転車練習

安全確認の仕方、踏切や信号機のある交差点の渡り方等、交通法規に則った自転車の運転の仕方を学習しました。また、S字コースやジグザグコース等で、運転の技能も磨きました。

いつも法規を守り、慎重に運転してください。

「**屋代町にあいさつ運動を広げよう!**」と、今年も屋代青少年育成会様から、全校児童に鉛筆をいただきました。屋代の町に屋代小学校の子どもたちの元気なあいさつの声を響かせ、明るい町をつくっていきましょう。

えがおであいさつ 屋代青少年育成会

今回は、相手に投げかける「ことば」の大切さについて述べます。

はじめに、なかのひろさんの詩集『とうさんのラブレター』（銀の鈴社）から、ひとつの詩を紹介します。

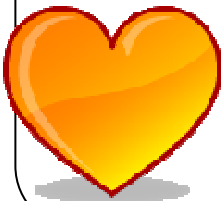
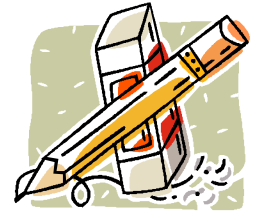


### 温かな言葉を大切に



#### 「ことばのけしゴム」

えんぴつで かいた字は けしゴムで きえる  
こくばんに かいた絵も こくばんふきで けせる  
口からでてしまった ことば けす けしゴムないんだね



とりだせないんだね きみの耳にささった ぼくのことば  
わすれられないよ ぼくのむねにささった きみの目  
ことばをけす けしゴム あったらなあ

私の何気ないことばで、私の知らないところで傷ついている人がいます。そして、そのことばは、ずっと消えないとげとなって、心に突き刺さったままになってしまいます。

発達障害のある子どもの中には、周りの雰囲気を読み取りにくく、その場の状況にそぐわないことを言うてしまう子どもがいます。また、自分だけが話し続けてしまうこともあります。そのため、「あいつは勝手なやつだ」と誤解をされ、周りから浮き上がってしまうことも少なくありません。

場に合ったことば遣いができるようにするには、例えばの場面を想定し、やり取りの練習をする等のソーシャルトレーニングが有効であるといわれます。また、周りの者も、この子の特性を理解し、ことばをそのままうのみにして、非難をしないようにすることも大切です。

さらには、発達障害のある子どもの中には、冗談を理解できず、ことばのままに受け取るため、いつも心を痛めている子もいることを忘れてはいけません。

だれもが安心して生活ができる広い人間関係を築いていきたいもの。そのためには、まず、私たち自身が、相手に対して寛容であるとともに、相手を包み込む温かいことばを遣えるようになっていくことです。

